

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	グローバル社会・経済—Anthropology of Japanese social structure— 〔Global Society/Economy—Anthropology of Japanese social structure—〕
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 5・6時限 (12:40~14:10)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 (国際連携本部) Suwa Junichiro (Department of International Education & Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○グローバル化する社会・経済に関する見識を深めること ○グローバル化する社会・経済に関する知識を活用して、海外ビジネスのあり方や多様な働き方を理解すること
授業の概要 course description	Aspects of Japanese society with special focus on reciprocal exchange will be explored by means of anthropological literature and audiovisual documents.
授業の内容予定 schedule of the class	Introduction Lectures on aspects of Japanese society (2) Lectures on The Chrysanthemum and the Sword (4) Lectures on Campaign (3) Presentation (5)
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Assignments and preparation for presentation.
教材・教科書 text	http://english.gzeic.edu.cn/ewebeditor/uploadfile/20141121103238299.pdf
参考文献 references	TBA
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Presentation and participation.
授業形式・形態及び授業方 法 class format	講義Lecture and in-class discussion.
留意点・予備知識 remarks	講義・発表等、授業のすべてを英語で行います。
オフィスアワー Office hour	水曜日 9・10 時限目 (要予約)
E メールアドレス・HP アド レス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	None.

授業科目名 subject 〔英文名〕	青森の文化ーやさしい日本語で留学生と話そうー 〔Culture of Aomori—Let's talk with International students by easy Japanese—〕
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 7・8時限 (14:20~15:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部) OYAMA, Nubuko (Department of International Education & Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1 留学生に対して、「やさしい日本語」を使ったり、自分の日本語を相手に合わせて変えたりしてコミュニケーションを取る。 2 この授業で行うプロジェクト「嶽温泉自炊キャンプ」を、安全に、また自然環境に必要以上に負担を与えないで実施できる。 3 嶽温泉が位置する常磐野という、鱒ヶ沢と弘前をつなぐ、いわゆる中山間地域の歴史や自然、生活に対する理解を深める。
授業の概要 course description	近年、日本には外国人が急速な勢いで増加しています。また、青森県の外国人観光客も、増加が大きいです。皆さんは将来、地域や職場で、外国人と協力しながら生活していかなければなりません。 様々な外国人の中でも、今、同じ大学で学ぶ【日本語が上手な留学生】は、皆さんにとって共通の話題も多く、年齢や大学生という立場が同じで、相対的には、非常に話しやすい相手と考えられます。このような留学生と共にキャンプを行うことにより、彼らの目に青森がどう見えているか、またなぜそのように感じているかということを知ることができると考えられますし、テントの中や外で好きな話をする事ができます。
授業の内容予定 schedule of the class	夏至に近い6月15日、16日(土・日)(悪天候の場合、22日・23日に変更)に、弘前市常磐野地区に位置する岩木山青少年スポーツセンターにおいて、留学生と日本人学生が混じったクラスで炊事(自分達で料理を作る)キャンプを行うプロジェクトワークの形で行う授業です。 この授業は、第1回目から第9回目までは大学の教室で計画や準備を行い、第10回目~第14回目の5コマは一泊二日でキャンプに参加することで授業出席とみなします。第15回目は、また大学の教室で行います。 6月15日・16日また22日・23日の両方とも大雨が降った場合は、市内の公民館や公園などで代替となる活動を行う予定です。 基本的に、学期中に総額2600円程度(バス代、テントサイト使用料1人600円、テント貸出料360円~270円、炊事用薪、木炭)【食材費は別:食材の内容と費用はグループにより異なる】の費用がかかる予定です。また、寝袋もそれぞれ、自分で準備しなければなりません(友だちから借りてもいいです)。 基本的に留学生と日本人の人数は同じで、合計人数の上限は、バスに乗れる44名です。どちらかの希望者が多い場合は多い方がくじ引きになる可能性もあります。 1回目 授業の進め方、費用、「やさしい日本語」の説明。 2回目 ゲストスピーカー(高田敏幸氏:岩木山自然学校顧問/登山ガイド)による常磐野地区に関する講義。 3、4、5回目 料理グループに分かれ、料理の計画を立てる。 6、7、8回目 レジャー班に分かれ、出し物について計画を立てる。 9回目 悪天候の場合の活動内容を確認 10回目~14回目 6月23日・24日に岩木山青少年スポーツセンターでキャンプ 15回目 振り返り
準備学習(予習・復習)等の内容 preparation for class	キャンプ地で可能な料理を調べたり買い出しをしたり、出し物を出したりするための準備は授業外学修となります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

教材・教科書 text	特になし
参考文献 references	なし
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	毎回のリフレクションシート 30% 授業がうまく行くように協力 40% (キャンプで積極的に活動する) 最終レポート 30%
授業形式・形態及び授業方法 class format	講義、グループワーク
留意点・予備知識 remarks	<p>最初は「やさしい日本語」を使っているけど、だんだん「普通の日本語」になってしまふことが多いです。授業の終わりのリフレクションシートでは、自分が「やさしい日本語」を使っていたか、確認します。</p> <p>このシラバスは、日本語N2合格者がだいたい読めることを目安にして、書きました。ただし、授業には、このシラバスも難しく読めない人が来る可能性があります。やさしい日本語で話すだけではなく、ゆっくり話しながら、相手がわからなそうな時には、確かめたり、言い換えたり、書いて説明したりすることも必要です。</p>
オフィスアワー Office hour	後日お知らせします。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	nobuko(アットマーク)hirosaki-u. ac. jp
その他 other	なし

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	青森エクスカージョンーCultural anthropology of exhibitionsー 〔Excursions in AomoriーCultural anthropology of exhibitionsー〕
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wed) 5・6時限 (12:40~14:10)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	○諏訪 淳一郎 (Suwa Junichiro 国際連携本部)、片岡 太郎 (人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○現地調査のノウハウを身につけること ○現地調査を通して、青森の地域社会や自然について、探求していくことができるようになること
授業の概要 course description	Visual interactions in exhibition and its significance in modern life will be explored. Archaeological and cultural collection displays are specially focused.
授業の内容予定 schedule of the class	Introduction Topics in archaeology in Aomori (2) Anthropology of display (4) Excursions to archaeological sites (5) Presentation (3)
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Study and reflection of materials.
教材・教科書 text	None.
参考文献 references	TBA
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Presentation and participation.
授業形式・形態及び授業方 法 class format	演習 Open discussion is expected. One-day excursion is scheduled on a Saturday which you must attend.
留意点・予備知識 remarks	発表を含む授業のすべてを英語で行います。演習なので、履修制限があります (20名程度)。
オフィスアワー Office hour	水曜日 9・10時限目 (要予約)
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	None.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	青森エクスカージョンーResearch in communal sustainabilityー 〔Excursions in AomoriーResearch in communal sustainabilityー〕
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 9・10 時限 (16:00~17:30)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 (国際連携本部) Suwa Junichiro (Department of International Education & Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○現地調査のノウハウを身につけること ○現地調査を通して、青森の地域社会や自然について、探求していくことができるようになること
授業の概要 course description	This term's topic is various aspects of travelling and transport around Tsugaru that potentially relate with cultural tourism. You are expected to actually use transport (by foot, vehicles, and/or ferry) to report your activity in media of your choice.
授業の内容予定 schedule of the class	Introduction Lectures (7) Presentation/Discussion (7)
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Individual effort for presentation is indispensable aside from online or archival researches.
教材・教科書 text	None.
参考文献 references	TBA
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Presentations, participation and reflections.
授業形式・形態及び授業方 法 class format	演習 Lecture/short excursion, individual research and presentation.
留意点・予備知識 remarks	課題提出を含む授業のすべてを英語で行います。
オフィスアワー Office hour	水曜日 9・10 時限目
Eメールアドレス・HP アド レス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	None.

授業科目名 subject [英文名]	青森の食と産業化—Cultural anthropology of local food and dietary practice— [Food and Industrialization in Aomori—Cultural anthropology of local food and dietary practice—]
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 5・6時限 (12:40~14:10)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	○諏訪 淳一郎 (国際連携本部)、杉山祐子 (人文社会科学部)、近藤史 (人文社会科学部)、平井太郎 (地域社会研究科)、佐藤 孝宏 (農学生命科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○青森の強みである食について、理解すること ○食への理解をもとに、青森の食が抱える問題やさらなる飛躍に向けた方策を考察すること
授業の概要 course description	This course is designed in two sections: 1) Lectures in various angles of Aomori and food culture, and 2) Excursions to taste and present about local food.
授業の内容予定 schedule of the class	Introduction Lectures on food and Aomori (4) A trip on traditional local food/cuisine (4) Minor excursions (2) Presentation (4)
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	TBA
教材・教科書 text	None.
参考文献 references	TBA
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Presentation and assignments.
授業形式・形態及び授業方 法 class format	講義 Outdoor activity included.
留意点・予備知識 remarks	フィールドトリップを除いて、発表を含む授業のすべてを英語で行います。 履修制限あります (特別聴講学生を含めて20名以内)。
オフィスアワー Office hour	水曜日 9・10時限目
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	None.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本—津軽の工芸— [Japan—Crafts of the Tsugaru region—]
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	金曜日 (Fri) 5・6時限 (12:40~14:10)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)、関根 達人 (人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること
授業の概要 course description	This course enables students to acquire a thorough understanding of the historical and social background of the major crafts produced in the Tsugaru region and experience them first-hand. このコースは津軽地方の工芸の歴史的・社会的背景を検証し、体験実習をも行なうものである。
授業の内容予定 schedule of the class	After starting out with a brief survey, time will be spent examining the the origins, techniques, and social significance of Jomon pottery, Aizome (indigo dyeing), Tsugaru-nuri (lacquer-ware), Kogin (embroidery) and neputa-e (paintings used for the neputa festival floats). 縄文土器、津軽塗り、藍染、こぎんざし、及びねぶた絵の由来、技法と社会的意義について学びます。
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Readings will be assigned. テキストを予習します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on students' submissions and a final exam. 評価は呈出物と試験に基づいて行なわれます。
授業形式・形態及び授業方 法 class format	講義 Classes will be held bilingually in Japanese and English. 授業は日本語と英語の両方で行なわれます。
留意点・予備知識 remarks	Students will be required to buy their own materials for craftwork undertaken in class. (Total estimated cost: ¥2500~¥3000 depending on what each student decides to make.) 材料費：¥2500~¥3000 Class capacity: 20, including up to 3 Japanese students. 定員 20 名内日本
オフィスアワー Office hour	Wed 5・6 By appointment
E メールアドレス・HP アド レス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本－日本のスポーツー [Japan－Traditional Japanese sports－]
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 7・8時限 (14:20～15:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	○サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)、高橋 俊哉 (教育学部)、福島 成利 (ゲストスピーカー)、水上 知剛 (ゲストスピーカー)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること
授業の概要 course description	This course enables students to experience the mental and physical discipline which Aikido, Kendo and Judo offer. The history and cultural significance of each sport is introduced before students are guided through its basic forms and rules. このコースは合気道、剣道
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1: Introduction はじめに Sessions 2～6: Aikido 合気道 Sessions 7～11: Kendo 剣道 sessions 12～16: Judo 柔道
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Students are expected to practice what they have been taught in order to make progress in subsequent classes. 復習を繰り返すことを通して上達します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on class participation and the results of 3 tests. 評価は授業参加と3回のテストに基づいて行われます。
授業形式・形態及び授業方 法 class format	講義 Classes are taught bilingually, in Japanese and English. 授業は日本語と英語の両方で行なわれます。
留意点・予備知識 remarks	Class capacity: 20, including up to 3 Japanese students. 定員: 20名、内日本人学生を3名までとする。日本人学生はToEIC550相当の英語能力を要する。登録を希望する学生は1回目の授業で教員にスコアを提示し、許可を受けてください。
オフィスアワー Office hour	Wed 5・6 By appointment
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本－日本の絵本の世界－ [Japan－The world of Japanese picturebooks－]
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wed) 7・8時限 (14:20～15:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること
授業の概要 course description	This course explores the world of Japanese picturebooks. It harnesses picturebook theory to examine how picturebooks convey meaning. It then traces the evolution of picturebooks in Japan and examines predominant themes which recur in widely-read works cre
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1: Introduction Sessions 2～6: How picturebooks make meaning Sessions 7～8: A history of Japanese picturebooks Sessions 9～16: Contemporary picturebook makers
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Students will be required to prepare for group presentations. グループ・プレゼンテーションの準備をします。
教材・教科書 text	Texts will be lent. テキストを貸し出します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on presentations and a final essay. 評価はプレゼンテーションとレポートに基づいて行なわれます。
授業形式・形態及び授業方 法 class format	講義 Classes will be taught bilingually, in Japanese and English. 授業は日本語と英語の両方で行なわれます。
留意点・予備知識 remarks	Class capacity: 20, including up to 5 Japanese students. 定員 20 名、内日本人学生を 5 名までとする。日本人学生は ToEIC550 相当の英語能力を要する。登録を希望する学生は 1 回目の授業で教員にスコアを提示し、許可を得てください。
オフィスアワー Office hour	Wed 5・6 By appointment
E メールアドレス・HP アド レス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本－日本の戦争文学－ [Japan－Japanese war literature－]
開講区分	教養教育
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 5・6時限 (12:40～14:10)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること
授業の概要 course description	This course harnesses literature as a means of gaining a deeper understanding of how WWI is remembered in Japan. We will read fiction, non-fiction, comics and picturebooks which portray war as well as watching their screen versions. 文学を活用し、第二次世界大戦が日本において
授業の内容予定 schedule of the class	we will consider the following works and the historical events they illuminate: Harp of Burma, Unexpected muteness, Bones, Barefoot Gen, The Hiroshima Panels, The Friends. 歴史的背景を調べながら『ビルマの豎琴』、『不意のおし』、『骨』、『はだしのゲン』、『ヒロシマの図』、『夏の庭』などを読む。
準備学習 (予習・復習) 等の 内容 preparation for class	Students will be given reading assignments to prepare for discussions held in class. グループ・ディスカッションにそなえて作品を読みます。
教材・教科書 text	Books will be lent. 本は貸し出します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on class participation and a final essay. 評価は授業参加とレポートによって行なわれます。
授業形式・形態及び授業方 法 class format	講義 Classes will be taught bilingually, in Japanese and English. 授業は日本語と英語の両方で行なわれます。
留意点・予備知識 remarks	Class capacity:20, including up to 5 Japanese students. 定員 20 名、内日本人学生を 5 名までとする。日本人学生は ToEIC 550 相当の英語力を要する。登録を希望する学生は 1 回目の授業で教員にスコアを提示し、許可を得てください。
オフィスアワー Office hour	Wed5・6 By appointment
E メールアドレス・HP アド レス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

授業科目名 subject 〔英文名〕	文化資源学・多文化共生コース特設講義C〈2〉「日本語教育A」 (Cultural Resources Program Special Lecture C –Japanese Pedagogy A–)
開講区分	人文社会科学部 専門教育科目
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wed) 7・8時限 (14:20～15:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	鹿嶋 彰 (国際連携本部) KASHIMA, Akira (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語非母語話者の視点から日本語を見ることによって、一言語としての日本語の特徴を理解すること (見通す力) ・多言語多文化共生のツールである「やさしい日本語」の特徴、特に「やさしい日本語」の「やさしさ」について、基礎的な理解を得ること (見通す力) ・基礎的な日本語を説明する力や、「やさしい日本語」を使用する基礎的な技能を得ることによって、身の回りの多文化共生に貢献できるようになること (解決する力)
授業の概要 course description	<p>この講義は、日本語非母語話者の視点から、私たちが日常に用いている日本語を見直すことにより、日本語を客観的に理解するための新しい視点を模索し、日本語を身の回りの多文化多言語共生を支えるツールとして利用していく方法を考えるための科目です。</p> <p>日本社会は、おおむねどこに行っても日本語が通じる社会ですが、急速に多言語多文化の側面を持つようになってきており、多言語多文化共生が求められるような社会に変貌してきています。日本語を、この共生のためのツールとして用いるためには、日本語母語話者、非母語話者が共通に理解できる可能性の高い「やさしい日本語」が求められますが、非母語話者の視点から日本語を見たことがない日本語母語話者には、日本語自体の特徴や、どのようにすれば「やさしく」なるかが自明ではありません。</p> <p>この授業では、日本語教育の場面で、学習者が困難を覚える問題から考察をスタートし、言語学的知見、日本語非母語話者、母語話者が持つ日本語の視点等を検討し、受講者間で共有しながら、将来、受講生が、日本語を多言語多文化共生のツールに利用していけるような眼を育てることを目指しています。</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>この授業では、日本語学習者が学習習得に困難を感じるような基礎日本語についての話題をいくつか取り上げ、その説明に必要な音声や文法概念を学習し、限られた日本語能力しか持たない学習者に、日本語をどのように説明していけばいいかを考えます。また、日本語話者と日本語非母語話者双方にとって「やさしい」日本語について検討し、日本語を媒介とした多言語多文化共生に有用な「やさしい日本語」像について考えます。</p> <p>第1回 オリエンテーション (全体のテーマ説明、授業の進め方、予習復習の取り組み方などの説明)</p> <p>第2回 日本語の音声 I、拍と音節</p> <p>第3回 日本語の音声 II、アクセント</p> <p>第4回 文型と文法教育</p> <p>第5回 述語のテンス、アスペクト I</p> <p>第6回 述語のテンス、アスペクト II</p> <p>第7回 ヴォイス I (受身文)</p> <p>第8回 ヴォイス II (使役文)</p> <p>第9回 ヴォイス III (授受表現)</p> <p>第10回 ヴォイスの選択 (話し手の視点)</p> <p>第11回 ムード、文の構成</p> <p>第12回 「やさしい日本語」 I</p> <p>第13回 初級日本語の実際 (留学生対象「日本語基礎、日本語初級」との合同授業)</p> <p>第14回 「やさしい日本語」 II</p> <p>第15回 「やさしい日本語」 III、講義のまとめ</p>

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	<p>[予習] 各テーマは課題より始めるので、教科書の該当部分を読み、課題を解いて教室に持参してください。</p> <p>[復習] 授業後、必ず内容を振り返り、学習した内容に沿って課題について復習してください。そして、リフレクションペーパーを書き、次回の授業時に提出してください。</p>
教材・教科書 text	<p>荒川洋平『日本語という外国語』講談社現代新書 2013 (2009)</p> <p>庵 功雄『やさしい日本語 ー多文化共生社会へ』岩波新書 1617 (2016)</p>
参考文献 references	授業で適宜紹介します。
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>平常評価 (予習、課題への取り組み、授業への参加度、授業後の振り返り等を、リフレクションペーパーの内容に基づき評価する。評価全体の 60%)</p> <p>期末評価 (授業終了時に期末課題を課す。評価全体の 40%)</p> <p>上記を合算して成績評価を行います。</p>
授業形式・形態及び授業方法 class format	<ul style="list-style-type: none"> 各学習項目は、留学生日本人学生混合のグループで課題を討議し、問題点を明らかにするところから開始します。 問題点を明らかにした後、テーマについて講義を行います。
留意点・予備知識 remarks	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生、留学生ともに受講を歓迎します (留学生は、原則的に日本語プレイスメントテストで中上級以上と判断された学生に限定します。それ以外の留学生 (日本語非母語話者で、受講を希望する方は、担当講師にご相談ください)。 受講にあたって、日本語教育、日本語学、言語学等の予備知識は必要ありません。 リフレクションペーパーの提出が全体の 2/3 未満だった場合、単位を出しません。
オフィスアワー Office hour	火曜日の午後 2 時 20 分から 3 時 50 分までを、オフィスアワーとします。その時間は、国際連携本部サポートオフィス (総合教育棟 2 階) にいますので、こちらにおいでください。
E メールアドレス・HP アドレス E-mail address・HP address	akashima@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	なし